

7-3 甲斐駒ヶ岳 FB

谷田英生

2006年7月18日

1 アプローチ

前線が徐々に南下して天候が下り坂だったが、携帯で予報を確認すると日曜は曇だったので、予定通り黒戸尾根に登ることにする。

新宿駅ホームに 20:30 集合。L は某サークルのミーティングで遅れる。21:31 出発。下河辺に入山連絡を入ると、黒戸尾根に登るには天候が微妙ではと言われたのでもう少し電車の中で天候を調べたが、三年の間で大丈夫と判断し、高尾で入山連絡。

穴山に 24:20 分過ぎ着。一緒にいたはずの小寺が下りていない。ザックのベルトの一部を電車の戸袋に挟まれて下り損ねたらしい。二駅先の長坂で、やっと下りられた。ジャンタクに經由してもらい、回収。

入山口の竹宇駒ヶ岳神社に 25:00 過ぎ到着。

2 第一日

竹宇駒ヶ岳神社 (4:30)-(5:20)1150m 付近 (5:30)-(6:20)1400m 付近 (6:30)-(7:10) 八丁登り (7:20)-(8:10) 前屏風ノ頭先 (8:20)-(刀利天狗 8:45)-(9:05) 黒戸山前 2150 付近 (9:15)-(五合目小屋 9:30)-(9:45)2200 付近 (10:00)-(唐木再度処置)- (11:05) 七丈小屋

4:30 出発。一ピッチ目は唐木がトップだったが、少しゆっくりペース。話によると、一昨日、昨日と 3 時間しか寝てないらしい。体調はしっかり整えましょう (昨日のアプローチを遅くした L にも責任はある)。

笹の平付近のルートは二年前の道トレの情報通り、1628 のピョコは通らず。

八丁登り付近では L が少し遅れる (二ピッチ目から右足のアキレス腱が急登で少し痛んでいた)。

危険とされていた刃渡りは全く問題なかった。二年前の記述通り、雨でも大丈夫だろう。

五合目小屋は雪で殆ど崩壊した状態だった。

五合目小屋を少し過ぎた所で、唐木が大腿部の不調を訴える。処置をして、小寺が共装を殆ど抜くが、あまりペースが上がらない。再度不調を訴えたのでストレッチ等をする。

一日で北沢峠まで下りる目安としていた七丈小屋 11:00 のリミットには間に合いそうだったが、唐木の調子が悪いので今日は七丈小屋に泊まることにする。結構ゆっくり歩いたが、11:05 頃には七丈小屋に着いた。相当暑い一日だった。

最後には苦しみつつ (?)3K 缶を食す。さらに、信大山岳部の人から、小屋で貰ったらしいジュースを分けて頂く。3K 缶でお返ししようと思ったら、いつのまにか空になっていた。テン場は事前の情報と違って一人 500 円だった。

昼寝して、15:00 からサイトして、睡眠不足を取り戻すべく寝た。16:00 前から夕立が降った。26:00 頃には比較的激しい雨が降っていた。

3 第二日

七丈小屋 (5:00)-(L ラジオでいもる)-(5:40)2650 付近 (5:50)-(6:30)2800 付近岩場 (6:45)-(7:10) 甲斐駒ヶ岳 (7:15)-(8:30)2900 付近 (8:40)-(9:30) 駒津峰 (9:40)- (10:35)2500m 付近 (10:45)-(11:30) 仙水小屋先沢沿い (11:40)-(12:10) 北沢長衛小屋

3:00 起床。4:30 に出発予定でサイトは早く終わったが、明るくなるのを待ってテン場から離れた小屋まで水汲みに行った唐木がなかなか帰っ

て来ない。結局出発は 5:00 に。

昨日とは違って変わっての、雨空。天候が悪化して岩場の通過が危険と判断すれば引返すことにして、出発する。

限界上に出る直前に、小寺にラジオを出して空電を聞くべきだといわれる (当然)。しかし L はラジオをザックの奥深くに入れた状態で、いけてない。おまけになかなか出てこない。結局吉村のラジオを借りる。空電は入ってないので、進むことにする。

八合目からは、険しめの鎖場が続いている。雨で濡れていたが、それほど滑りやすいわけでは無かった。このとき伊那北部に大雨注意報が出ていたが、予報では早朝の間に雨は止むとのことだった。

2800m 辺りの岩場でたるんだ時に、小松が飛行機か雷のような音を聞いたという。L も空電が聞こえたような気がした。しかし、その後特に怪しい音は聞こえなかった。最悪今たるんでいる岩場でピバーク出来ると判断し、進む。

ピークはガスっていて、殆ど展望がなかった。でも写真撮ったりして、たるんだ訳でも無いのに 5 分程度いた。

ピークから摩利支天の方面に下りる際に RF でイモる。赤ペンキがついた岩が一つおかしな場所に設置されていて、そのトラップにはまったトレースが付いていた。

駒津峰付近は想像していたよりは岩々していた。唐木が不調を訴えたので昨日より消費量が少なかった水を抜く。

仙水峠を過ぎた先のガレ場で、L が昨日から調子がまいちだったアキレス腱を痛み、ペースが落ちる。ゆっくり歩いて、北沢長衛小屋に。ちょっと隊を伸ばし過ぎたかもしれない。

月曜の好天が見込めないこともあり、仙丈はあきらめることにした。あとはバスで仙流荘まで行って、風呂入って、打ち上げして、高速バスで新宿へ。

4 反省

仙丈に行けなかったのが残念だが、十分な道トレになったと思う。

- 終電アプローチを選んだ L の責任もあるけど、もう少しコンディションを整えてから来るようにしてください。
- J 天ポッカお疲れさまでした。ピーク付近での判断の際にも、助言ありがとう。
- 分厚い本ポッカお疲れさまでした。F は凄いボリュームだった。ピーク付近での判断の際にも、助言ありがとう。
- 天図も大分良くなった感じでした。夏合宿の W 頑張ってください。
- 入山時からさまざまな助言ありがとう。
- 緊急ポッカお疲れさまでした。自分のことを棚にあげて言うのもなんだが、もう少し判断に参加してくれてもよかったかも。
- 今回は、短波ラジオを忘れてたり、足を痛めたり問題が多かった。足に関しては夏合宿で問題にならないように対策します。